

1. 1月全国行事

1) 年末年始無災害運動

12月15日～1月15日

2. 安全・衛生・防災の心得:4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底と定着を
3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)
4. 他社の事故・災害事例から : フォークの荷が崩れてきて重傷
5. 今月のヒヤリハット

2. 安全・衛生・防災の心得:4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底と定着を

職場がもっと安全で衛生的で、働きがいのある快適職場を目指すためには「4S」(整理・整頓・清掃・清潔)が欠かせません。そしてこの4Sは、形式的、思いつきではなく、安全衛生管理の観点から職場の危険性や有害性などのリスクアセスメントを行い、4Sを次のように定義して定着させることが大切です。

○整理は、必要なものと不必要なものを区分し、不必要なものは安全に処分(廃棄、再利用)する。

廃棄する時は環境保護を考える。

○整頓は、必要なものを使いやすいように、並べ明示する。危険・有害なものは、決められた場所に決められた方法で保管する。

○清掃は、職場や機械設備などの点検と併せて「ゴミなし」「ヨゴレなし」にする。

○清潔は、作業着や身体などが汚れる環境や作業方法を改善し、常に身の回りを衛生的に保つようにする。

「4S」の管理・活動を有効に推進するためには4Sの基準を明確にし、次の事項についてみんなの協力と実行が大切です。

- ①自分の4Sの受持区域に責任を持つ。
- ②担当する設備や機械、工具や器具の4Sに責任を持つ。
- ③清掃当番は責任を持って行う。
- ④定期的に、4Sの管理・活動が定着しているかをみんなでチェックする・・・など。

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

仙台工場:ブース内の補強に角度をつけて、粉塵が堆積しないようにしている。



福山工場: 排ガス洗浄塔の床面及び、防液堤を再整備。



4. 他社の事故・災害事例から : フォークの荷が崩れてきて重傷

<災害のあらまし>

事業場倉庫で、フォークリフト運転の作業者が、2.5トンフォークリフト(カウンタバランス式)で、段ボールの洗剤製品(重量18kg)をパレットに3段積みして運搬し、荷の一部を他のパレットに積み替えのため、フォークリフトを高さ1.2メートルにリフトした状態で一段目の荷を他の積み替えパレットに取り出す作業中、突然三段目の荷が崩れてきて作業者の背部に落下し、背骨の一部骨折の重傷を負いました。

<災害の主な原因>

- ①エンジンをかけたまま、積荷をリフトした状態で運転席を離れたこと。
- ②マストが後方にティルト(後斜)されておらず、ほとんど垂直に近い状態であったこと。
- ③積荷の状態をよく確認せずにリフトしたこと。
- ④荷崩れ防止の処置を行っていなかったこと。
- ⑤荷の下方で作業をしたこと。
- ⑥作業手順書が活用されなかったこと、など。

<同種災害の防止対策 例>

- ①エンジンが掛かっている時や、積荷をリフトした状態では絶対に運転席を離れない。
- ②積荷をリフトする時は積付け状態をよく確認し、荷崩れ防止等を行う。
- ③積荷状態で走行等を行う時は、マストを後方に十分ティルト(後斜)すること。
- ④フォークや荷の下方には決して入らない。
- ⑤作業手順書の活用と遵守を徹底する、など。

5. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「たぶん・だろう がケガのもと 慣れた作業も慎重に」

事例	カッターナイフで指を切りそうになった。
どこで	実験室で。
あらまし	アルミ箔をカッターナイフで切る際、定規に沿って刃を入れていたが、刃先が滑ったためヒヤリとした。幸い怪我は無かったが、指を切る恐れがあった。今後は、カッターナイフをゆっくりと動かし、刃先が滑らないように注意したい。
原因	カッターナイフの刃先が滑ったこと。
教訓・対策	カッターナイフ等刃物を使用する際は、細心の注意をはらうこと。

6. その他

<WORMBIZ> 「暖房に頼り過ぎない」「寒いときは着る」働きやすく暖かく、格好良いビジネススタイルで冬の節電対策をお願いします。

「出来ることから即実践、習慣付けよう省エネ職場」 H26年度環境保全最優秀作品